図書だより 6月

八幡市立南山小学校　図書室　令和７年６月号

新学期が始まり２か月が経ちました。たくさんの新しい本に出合えていますか？今月は、夏休みの課題図書に選ばれた本を紹介します。裏面をよく読んで、気になる本があったら、かりに来てください。本選びにこまったら、えんりょなく西口先生に相談してみてくださいね。

６月は読書週間！

☆シャッフル読み聞かせ

６月12日（木）・13日（金）・19日（木）・27日（金）

＊みなさんの教室に担任の先生以外の先生が絵本の読み聞かせにあらわれます。
今回はなんと４回！　楽しみにしていてくださいね。

☆ワード大賞　６月２７日（金）まで受け付け

＊3～6年生がおうぼできます。
＊読んだ本の感想を、ひとことくらいの短い文で書き表しておうぼします。選ばれると賞品がもらえます。

☆三行詩　６月13日（金）まで受け付け

＊くわしくは、右側を読んでください。おうぼ用紙は、図書室にあります。
＊おうぼすると、プラス１さつ券がもらえます。おうぼは、一人一枚だけです。

おうちの方へ

楽しい子育て全国キャンペーン

三行詩（短文）募集

家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

募集期間　5月7日（水）～6月13日（金）まで

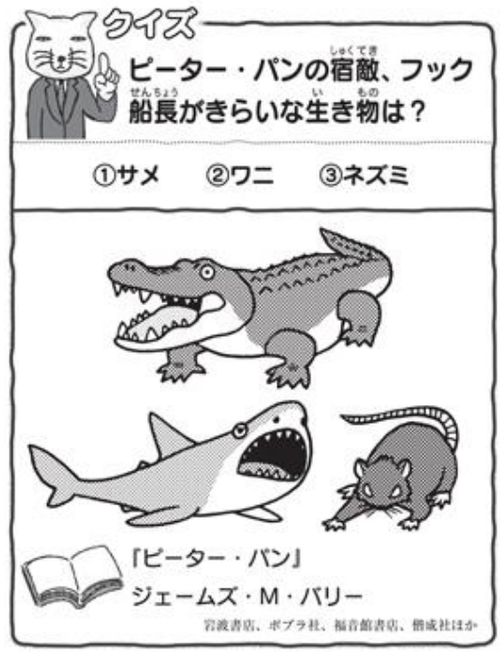
募集対象　小学生、中学生、一般（保護者、教職員など）

応募方法　職員室と図書室に応募用紙があります。

くわしくは、教頭先生か図書室の先生に聞いてください。

日本PTA全国協議会のホームページからも印刷できます。

クイズにちょう戦！！　答えは、図書室前にはってあります。



クイズにちょう戦！！　答えは、裏面にあります。

裏面に続く→

「ライオンのくにのネズミ」 さかとく み雪 作/中央公論新社

ライオンの学校に転校したネズミのぼく。ことばや体の大きさ、いろんなことがちがうんだから、なかよくなんてできっこない！ そう思っていたけれど…。

「ぼくのねこポー」 岩瀬成子 作／まつなりまりこ 絵/PHP研究所

首輪のないねこを、ぼくのうちでかうことができ、名前を「ポー」とつけます。ところが、転校生の森くんがかっていたねこかもしれないと気づき…。 ねこを手放したくないぼくの気持ちが、自分のことのように感じることができるすてきなお話です。

「ともだち」 リンダ・サラ 作/ベンジー・デイヴィス 絵/
しらいすみこ 訳/ひさかたチャイルド

ぼくとエトは大の仲良し！ どんな日も「ふたりいっしょ」。そこへ一人の男の子が「仲間に入れてくれる？」と、やってきて…。うれしかった気持ちがなんだかさみしい気持ちにかわってきます。みなさんにもそんな経験はありませんか？ お友達との関りが手に取るようにわかる身近に感じる絵本です。

「ワレワレはアマガエル」 松橋利光 文・写真/アリス館

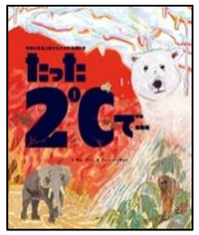
アマガエルのおどろきの生態や体の特ちょうを、アマガエルがかわいく楽しく紹介してくれます。写真もたっぷりで迫力があります。

「バラクラバ・ボーイ」 ジェニー・ロブソン 作
もりうちすみこ 訳/黒須高嶺 絵/文研出版

バラクラバ帽をかぶった転入生のトミー。なぜトミーは帽子をかぶっているのか？ あの帽子の下には何がかくされているのか？ たいくつな毎日が一変！ 個性豊かな仲間たちがあの手この手で帽子について考えます。"みんなと違う"ってあなたはどう思いますか？

「ふみきりペンギン」 おくはらゆめ 作・絵/あかね書房

ぼくのやる気がでないとき、ふみきりのしましまのぼうのヒラヒラをにぎって、パワーをじゅうでんする。今日もパワーをもらっていると、向かい側のふみきりにペンギンたちが、ぼくと同じようにヒラヒラをにぎっていた。うちの犬のマルもいる…。あなたの近くでも、ふしぎなことがおきているかも。「ふつうってなんだろう？」「自分らしさってなにかな？」を考えさせてくれます。



「たった2℃で…：地球の気温上昇がもたらす環境災害」
キム・ファン 文/チョン・ジンギョン 絵/童心社

地球温暖化がどういうことかがよくわかる本です。気温が2℃上がったら、地球でくらすすべての生き物の命があぶない！ 植物も動物も、あなたも、わたしも。わたしたちにできることは？

「ねえねえ、なに見てる？」 ビクター・ベルモント 絵と文/
金原瑞人 訳/河出書房新社

同じ場所にいても、見ているものがみんな同じとは限らない。もしかしたらその見え方は、全く違うのかも。食卓を通して家族一人一人の見え方を想像してみる。あなたにはどんなふうに見えるかな？

「ぼくの色、見つけた！」 志津栄子 作/末山りん 絵/講談社

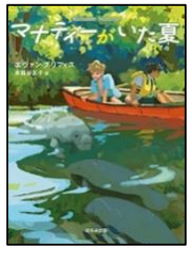
みんなと同じように色が見えていないことで困ることはあるけれど、それはかわいそうでなことではない。でも「色覚障がい」をかくして生活する信太朗が、「自分の世界の見え方の特別さ」に気づいていく。だれでも悩みをもっている。でも「あなたのままでいい。ありのままの自分を好きになれたらすてきですね。」と作者は言っています。

「とびたて！みんなのドラゴン：難病ALSの先生と日明小合唱部の冒険」
オザワ部長 著/岩崎書店

難病ALS をわずらいながらもがんばる先生と、小学生たちが合唱コンクールの全国大会を目指す一年間を描いた、2022年、本当にあったお話です！

「森に帰らなかったカラス」ジーン・ウィリス 作/山﨑美紀 訳/徳間書店

動物好きのミックは、森で見つけたニシコクマルガラスのヒナのケガを手当てします。世話をするうちにヒナはすっかりミックになついてきます。ロンドン動物園の元主任飼育員の少年時代、第二次世界大戦後の 1960年代イギリスでの実話をもとにしたお話で、父親の兵士時代の心の傷にもふれ、命についても深く考えさせられます。



「マナティーがいた夏」 エヴァン・グリフィス 作/多賀谷正子 訳/ほるぷ出版

11才の夏休み、ピーターは親友のトミーと「生き物発見ノート」を完成させようと観察をしながら、マナティーの話をしてくれた認知症をわずらう祖父のお世話も、がんばろうとします。しかし、発見したマナティーはけがをする、祖父の認知症は進んでいく、親友のトミーは引っ越すことに？ ピーターはいろんなことに立ち向かうことになります。

クイズの答え　どちらも②です